

日本原水協FAXニュース

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031
FAX:03-5842-6033 Eメール:antiatom55@hotmail.com

2011年
4月6日

全国各地 6・9行動で被災者救援を訴え



日本原水協は4月6日、20人以上が参加して上野公園で6・9行動を行い、東日本大震災救援募金を呼びかけました(写真左)。上野動物園にパンダを見に来た家族連れやお花見客などから「核兵器のない世界を」署名55筆と3万7558円の募金が寄せられました。走ってきた子どもが5円玉を入れてくれたり、被災して逃げてきた人も募金箱に入れてくれるなど、多くの人が協力してくれました。

被災地の宮城で6・9行動

宮城県原水協は6日、昼休み時間を利用して、仙台市一番町の繁華街で6人が参加して6・9行動を行ないました。

今回の震災で亡くなった方や、被害を受けたみなさんにお見舞いの言葉を述べながら、福島原発事故をこれ以上広げないように世界の英知を集めて放射能被害を回避するよう訴えました。

春休み中の高校生が「私は以前からこの署名をしたいと考えていました」といって500円の募金をそえて署名しました。また年配の方も「このような事故になってしまったが、もっとしっかりとした対策をとってほしい。本当に収束するのか心配だ」と語っていました。1時間で58筆の「核兵器全面禁止のアピール」署名と3400円の募金が寄せられました。

神奈川、広島など全国で行動

神奈川県原水協は今日の6・9行動でも地域と合わせて4万4500円を集めています。

他団体でも、日本宗教者平和協議会が本日、上野公園で牧師、神主、僧侶など宗派を超えて募金行動を行い、3万3077円を集めています。

本日まで寄せられた募金合計は

152万9613円です。

新理事長と新事務局長が 救援募金をよびかけー大阪

大阪原水協は4月6日昼休み、毎月行っている「6・9行動」を大阪市天王寺区・近鉄上六駅前で行った。7団体から14人が参加しました。(下写真)



3月の総会で新たに就任した岩田幸雄理事長と小松正明事務局長が交互にマイクを握り「今求められていることは、第1に住民の安全最優先で放射能を封じ込め事態を収束に向かわせること、第2に被災者救援と被災者中心の復興、第3に原子エネルギーの最大の誤用である核兵器の禁止・廃絶をすすめること」と訴えながら、大震災被害者に対する救援募金への協力を呼びかけました。

ニュージーランドから来日中の観光客4人がクライストチャーチでも多くの犠牲者が出たことに触れながら100円玉をカンパするなど1750円の募金が集まりました。